彼女が離婚で得たもの&失ったもの

岡野あつこ

第130回

意地の張り合い

自己主張をするのは悪いことではありませんが、それが強すぎると周囲と軋轢を起こすことが多くなるもの。それは、職場でも家庭でも同じです。男女は平等ですし、自分が正しいと思うことを主張するのは当たり前のことです。ただ、自分を主張するのと同時に、相手を思いやることも忘れてはならないのです。時には一歩引いてみるのが、人間関係を円満にする秘訣です。ことに夫婦の間では、ついムキになってしまうこともありますが、ちょっとした意地の張り合いが、取り返しのつかないことになるかもしれません。

愛情がなくなったら別れよう

印象的な切れ長の瞳に、クラシックバレエで鍛えたスラリと長い手足。高校時代にモデル事務所にスカウトされ、大学時代はアルバイト感覚でモデルやドラマのエキストラなどの仕事をしていたという美咲さん（仮名）。卒業後は生命保険会社に入社し、現在はコンプライアンス部門で仕事をしています。

結婚相手の宗太さん（仮名）は180㎝近い長身で、サッカーのクラブチームから強豪高校に進学、インターハイ準優勝という経歴の持ち主。大学卒業後は、スポーツ用品メーカーに勤務しています。

二人は友人の紹介で出会い、すぐに意気投合。3年ほどの交際期間を経て結婚しました。モデルのような美男美女で、人がうらやむほどのカップルでしたが、それぞれに自分の趣味があり、自分だけの時間も大切にしたいというから、結婚時に「どんなこともお互いが平等で、お互いのやりたいことには干渉しない」と約束。さらに、「どちらか一方の愛情がなくなったら別れよう」という約束もしていました。

「私の両親は私が高校を卒業した時に離婚したのですが、それまではケン